

# Quick Start Guide

## Configure the IAS (インターネット認証サービス) Microsoft Radius & Active Directory

*Revision 1.0 Beta (Jun 5, 2003)*

<目次>

1. Active Directory の設定 .....	1
ユーザーアカウント作成 .....	1
user-role 対応のグループ作成.....	2
ダイヤルイン・アクセスの許可 .....	2
グループ割り当て .....	3
2. IAS (インターネット認証サービス) の設定.....	4
IAS(インターネット認証サービス)のインストール.....	4
Radius クライアント(NAS)の設定.....	4
Active Directory へサービス登録.....	8

このドキュメントでは、Windows 2000 Server での設定を解説する。

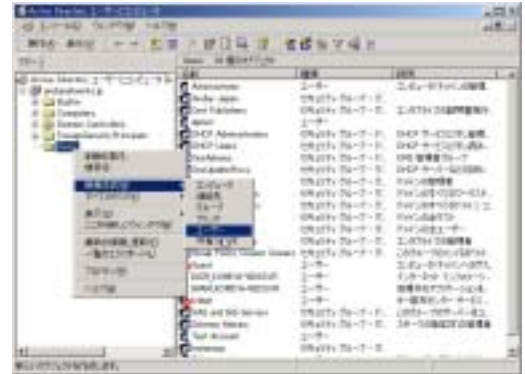
## 1. Active Directory の設定

Active Directory のインストール方法はここでは割愛する。

### ユーザーアカウント作成

[スタート] => [プログラム] => [管理ツール] => [ActiveDirectory ユーザーとコンピュータ]をクリックし、「Active Directory ユーザーとコンピュータ」ウィンドウを表示。

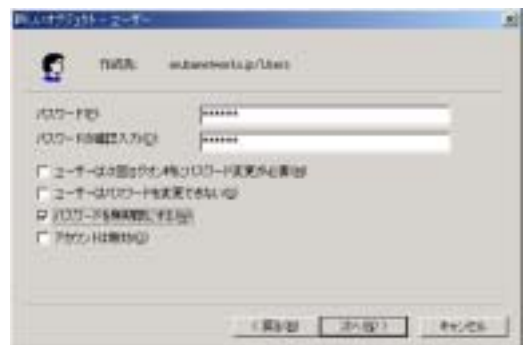
[Users]を右クリックし、[新規作成] => [ユーザー]を選択



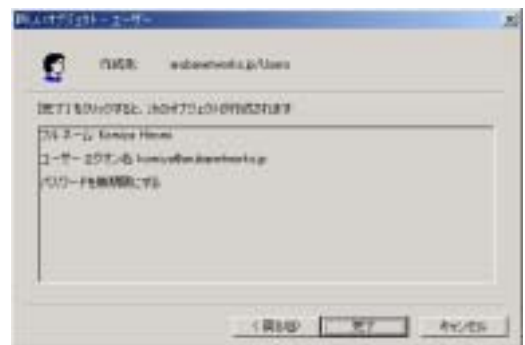
新しいオブジェクト ユーザーウィンドが表示される。  
姓、名、ユーザーログオン名を入力し[次へ] をクリック



パスワード、パスワードの確認入力を入力。  
また、必要に応じてオプションを選択し[次へ]

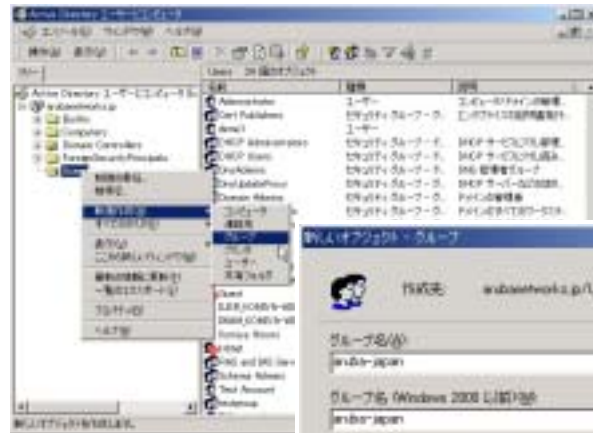


[完了]



## user-role 対応のグループ作成

「Active Directory ユーザーとコンピュータ」ウィンドの Users を右クリックし[新規作成] => [グループ]を選択



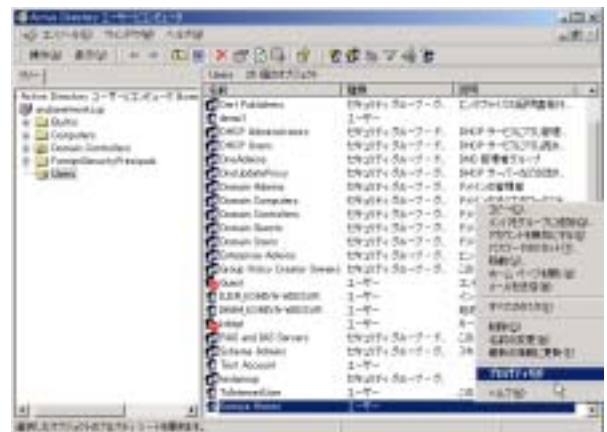
グループ名を入力し[OK]



これでグループが作成される

## ダイヤルイン・アクセスの許可

「Active Directory ユーザーとコンピュータ」ウィンドの Users を選択し、作成したユーザー名を右クリックし、[プロパティ]を選択



ユーザーのプロパティで[ダイヤルイン]タブを選択し、[アクセスを許可]に変更し[適用]

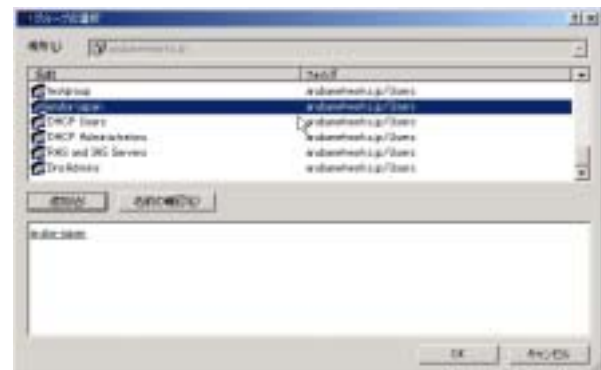


## グループ割り当て

所属するグループタブを選択し、**[追加]**をクリック



割り当てたいグループを選択し**[追加]**、**[OK]**



プロパティを**[OK]**で閉じる

## 2. IAS (インターネット認証サービス) の設定

### IAS(インターネット認証サービス)のインストール

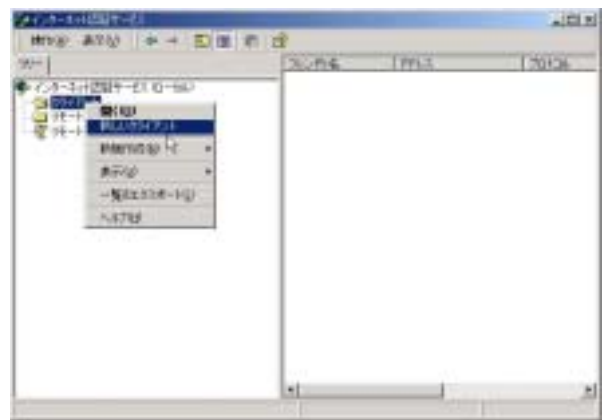
- a) [スタート] => [設定] => [コントロールパネル]から「コントロールパネル」を開く
- b) [アプリケーションの追加と削除]から[Windows コンポーネントの追加と削除]をクリック
- c) ネットワークサービスを選択し、[詳細]をクリック
- d) [インターネット認証サービス]をチェック、[OK]

[次へ]をクリックすればインストールが開始され、終了したら[完了]をクリック。

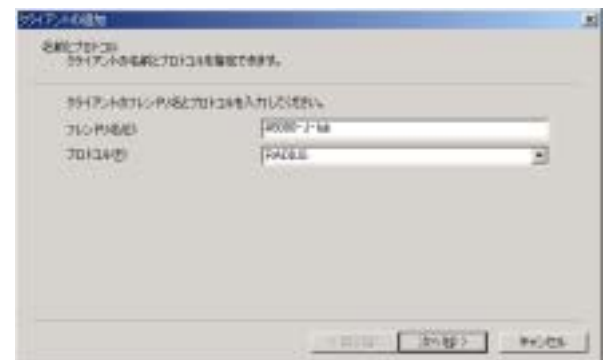
### Radius クライアント(NAS)の設定

[スタート] => [プログラム] => [管理ツール] => [インターネット認証サービス]を選択し「インターネット認証サービス」ウィンドを表示。

[クライアント]を右クリックし、[新しいクライアント]を選択

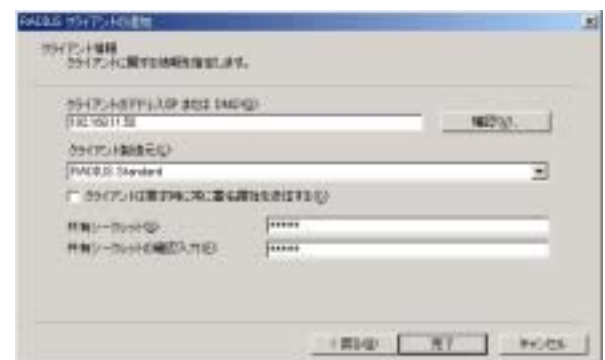


フレンドリ名を入力し[次へ]。  
プロトコルは **RADIUS** のまま。

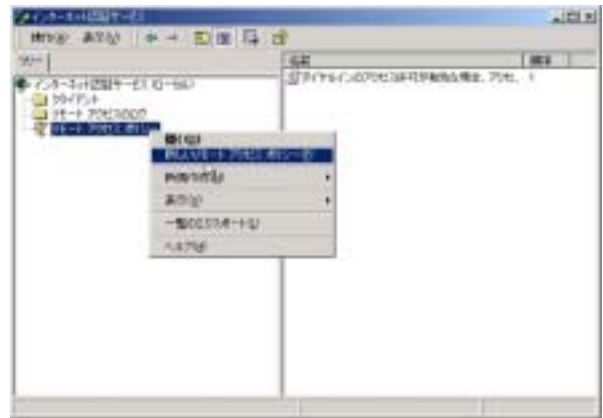


クライアントのアドレスに ARUBA 5000 の IP アドレスを設定し、**共有シークレット**、**共有シークレットの確認入力**をし[完了]

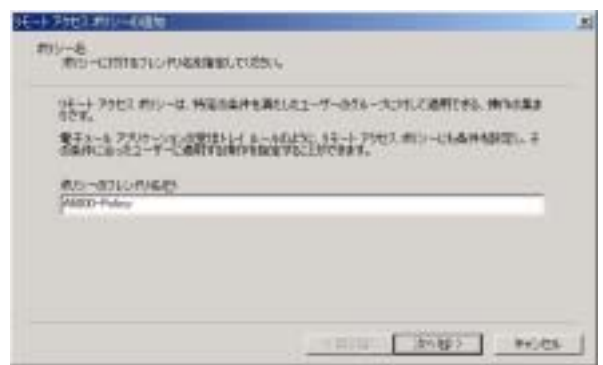
共有シークレットは、ARUBA 5000 側にも設定する必要がある。また、大文字、小文字が識別されるので注意。



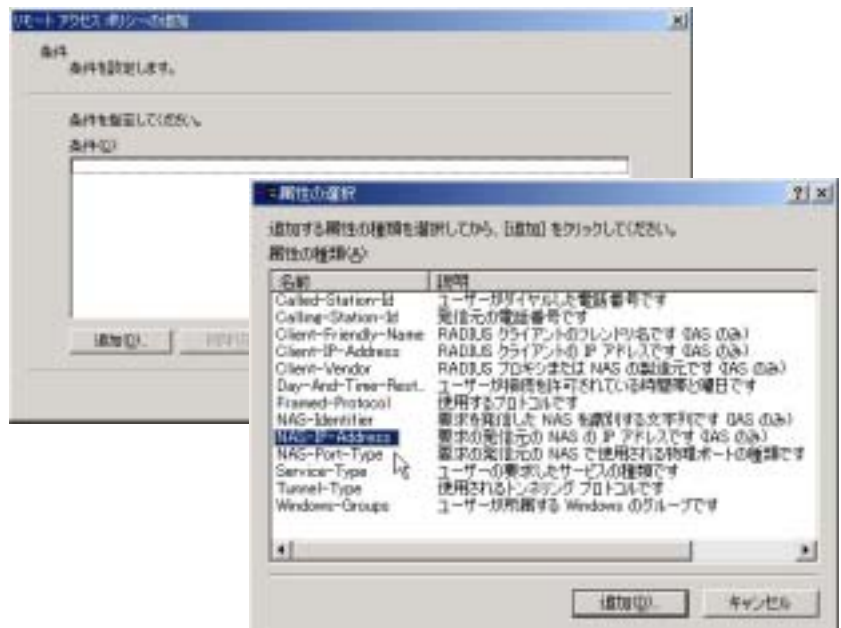
次にアクセス認証のためのリモート アクセス ポリシーを作成する。  
**[リモートアクセスポリシー]**を右クリックし、**[新しいリモートポリシー]**を選択



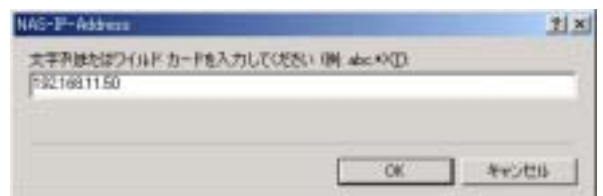
**[ポリシーのフレンドリ名]**を入力し**[次へ]**



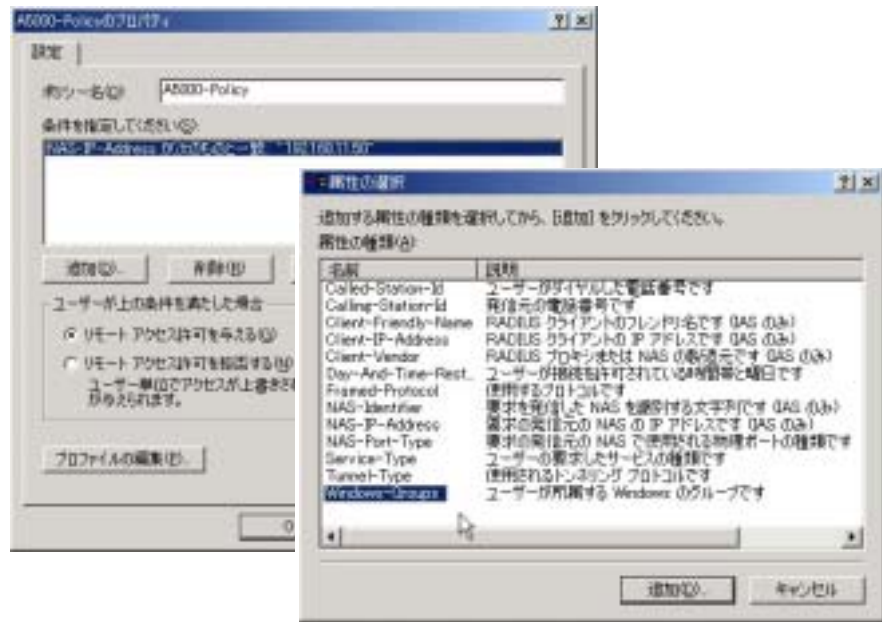
条件設定の**[追加]**をクリックし、**[NAS-IP-Address]**を選択し**[追加]**



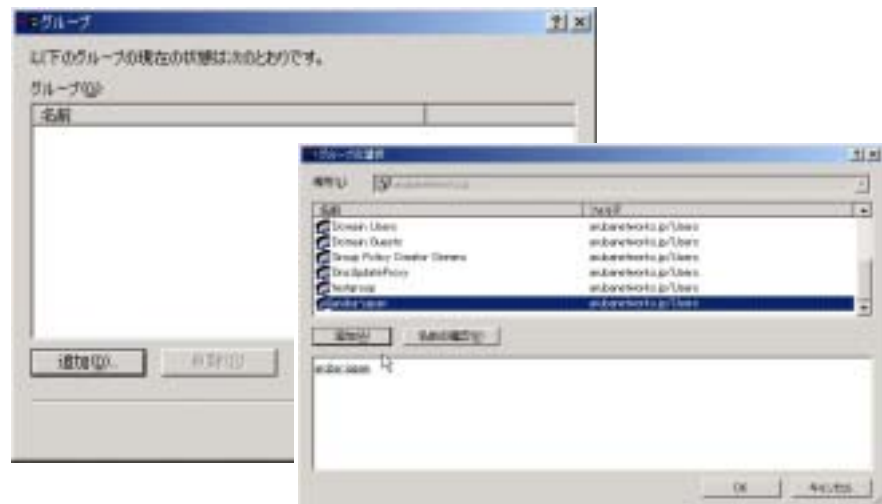
クライアントのアドレスで設定した ARUBA 5000 の IP アドレスを入力し**[OK]**



さらに、user-role 適用のために、再度**[追加]**をクリックし、**[Windows-Group]**を選択し**[追加]**



**[追加]**をクリックし、対応するグループを選択し**[OK]**

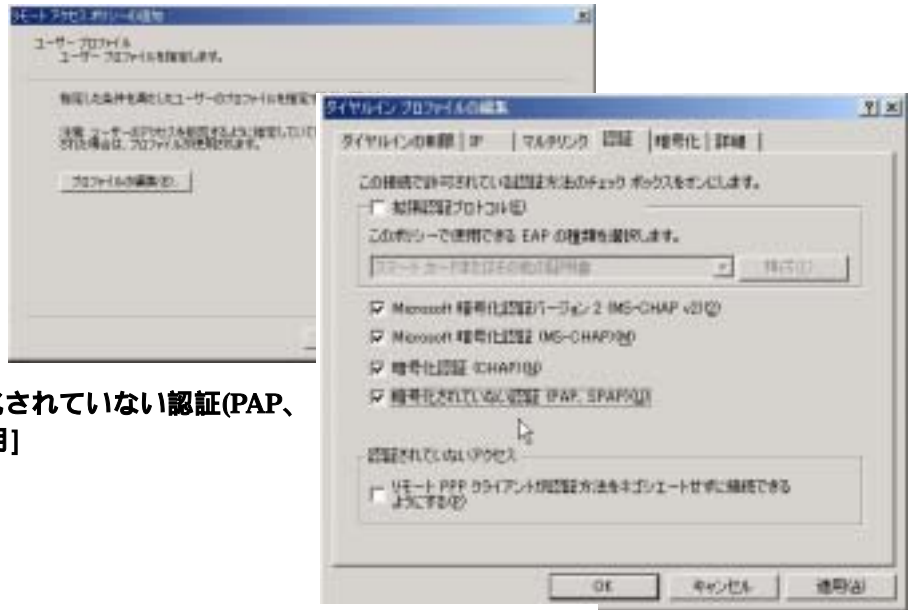


条件が追加されたら**[次へ]**

**[リモート アクセス許可を与える]**に変更し**[次へ]**

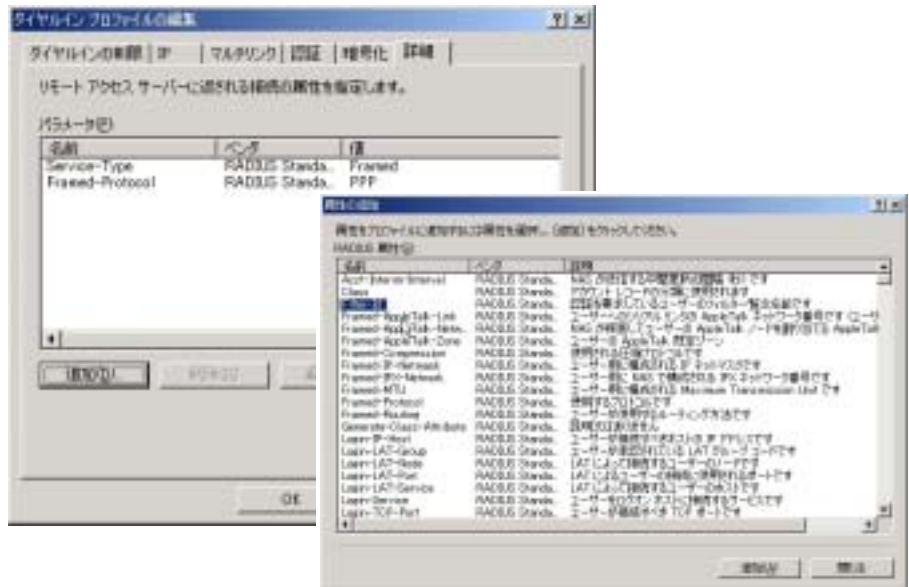


[プロファイルの編集]をクリックし、[認証]タブを選択



[暗号化認証(CHAP)、暗号化されていない認証(PAP、SPAP)]をチェックし、[適用]

user-role に適用されるよう、Filter-Id をパラメータに追加する

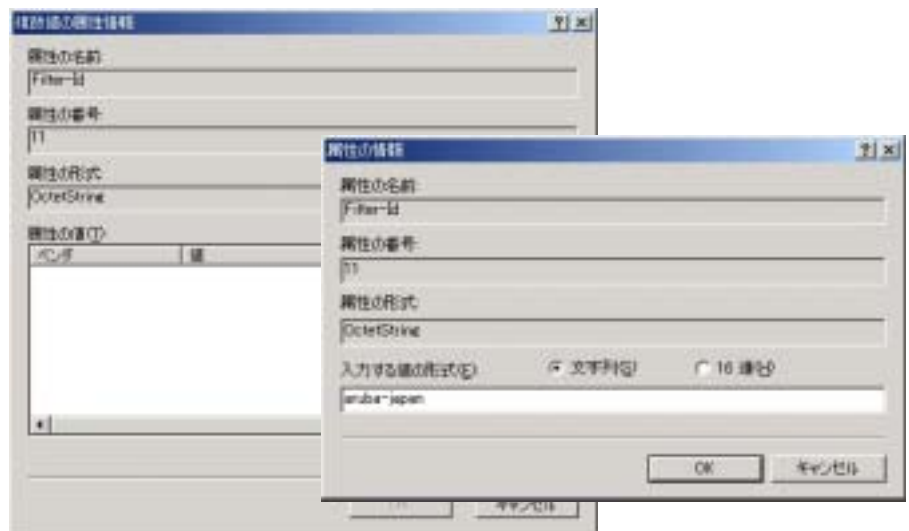


[詳細]タブで[追加]をクリック。

[Filter-Id]を選択し[追加]

[追加]をクリックし ARUBA 5000 で user-role に適用する文字列 / 名前を入力し[OK]

この文字列は、ARUBA 5000 側の user-role 名と同一である必要がある





複数値の属性情報ウィンドで[OK]

属性の追加ウィンドを[閉じる]

ダイヤルイン プロファイルの編集ウィンドで[OK]

[完了]

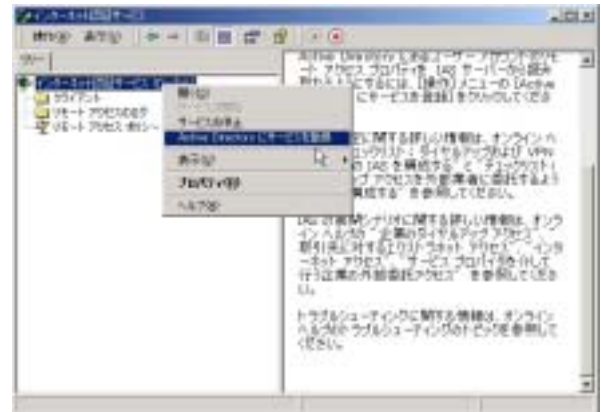


### Active Directory へサービス登録

Active Directoryにあるユーザーアカウントのリモート アクセス プロパティを IAS サーバから読み取れるようにするには、Active Directory へサービス登録が必要になる。

インターネット認証サービスを右クリックし、**[Active Directory にサービスを登録]**を選択

既に登録されていれば、「サービスは既に Active Directory に登録されています」というメッセージが出る。



ARUBA 5000 側 Filter-Id の user-role への割当方法は別ドキュメントで説明する。

これで終了となるが、何か認証に問題があった場合は、イベントビューアのシステムログを参照すると有用な情報が得られるときがある。